

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 多機能型事業所リズム 保護者等数(児童数) 27(30) 回収数 21 割合 78 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	17	2		1		・広さは十分広いと思います。 ・本人に聞くと「ひろいんだよー」と言っています。 ・なかなか部屋に入ることができないので、わかりません。	室内だけでなく、敷地内にある学習室、スイミングスクール、学童VI-VAや中庭など色々な場所で活動や遊びができるようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	13	2		6		・スタッフの方の専門性がわからない。	10名定員に対し児発管1名と指導員2名の配置が基準となっておりますが、多様な活動と目の届く支援を行うために人員を多く配置しています。また、外部の作業療法士による研修を実施し、職員の専門性を高めています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	17	1		3		・情報伝達はうまくできていると思いますが、バリアフリーはよくわかりません。 ・本人の性格(特性)に合った対応をしていると思います。	絵やシール、ラインなどで視覚的に分かりやすくし、マットなどの道具を使って場所が分かるように工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18	1		2		・そのようになっていると思います。 ・コロナやインフル、その他の感染症等を聞かないので、かなり清潔にしていると思う。 ・アルコールの設置等があり、きちんと消毒していると思います。	お子様が使いやすい片付けしやすいような環境整備に努めています。また小まめに消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	19	1		1		・子どもが「コレやりたい」と言うので、できる限りやってもらえていると思います。 ・本人の課題が何か見えていると思います。	フェイスシートや面談・担当者会議などでニーズを把握し、発達に応じた課題の計画を立てるようにしています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	19			2		・スイミングでの目標達成の喜びや発表会、イベントなどいつもと違うことへの挑戦など色々していただきながら、家族の私達も参加できるようにしていただいている。	ガイドラインに則って、お子様が楽しみながら活動できるように工夫をしています。これからも楽しんでもらえるように支援していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	21						お子様一人ひとりに応じた支援になるようにしています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	19			2		・個人のスピードに合わせて工夫されていると思う。 ・ゲームだけでなく掃除みたいなことを一緒にやっていて、家ではなかなかお手伝いとしてさせたことがなかったのでもいいなと思った。	楽しみながら活動できるように、ゲーム的要素を取り入れるなど工夫をしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	3	2	7		・コロナなどで難しかったと思う。 ・保育園など障害のない子と関わりがあるのか分からない。	やまびこ保育園の園児さんを招待してもちつきを一緒に行いました。また、学童クラブVI-VAとクリスマス会、豆まきなどを合同で行っています。
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	21						・いろいろなイベント等もプリントで細かく書かれていて分かりやすい。	契約時に読み合わせをして確認をしています。
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	18	2		1		・目標をなるべく達成できるように色々工夫していただき、本人ものびのびと取り組んでいると思う。	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、お会いしての説明が少なくなり申し訳ありません。	
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	7	3	2	9		・よくわからない。 ・連絡ノートにて、対応を教えてください。	感染症対策のため行うことができませんでした。2023年度は開催を計画しています。	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20			1		・できたこと、素晴らしかったこと、ちょっと失敗したこと、服のサイズアウトや肌の露出などのことを共通理解している。 ・連絡帳を通して日々の活動の様子を伝えてもらっています。 ・連絡ノートにて、対応を教えてください。	電話やHUGなどでお子様の様子をお伝えするようにしています。また、保護者様からもお子様のことを詳しく知らせていただいております。大変感謝しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13	4	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・こちらにも忙しいと思って遠慮してませんが、2～3ヶ月に1回くらいは相談の場があると思います。 ・日頃から相談や要望にすぐに答えていただき、助かっている。 ・コロナ禍なので、なかなか相談できていない。 	お会いしてお話する機会が少なく申し訳ありません。保護者様に寄り添っていただけるように努めていきます。ご心配なことがありましたらお気軽にお知らせください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	7	5	5	4		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで少なくなっているが、イベントをつくってくれてありがたい。 ・コロナ禍なので、保護者などの交流の機会がない。 	新型コロナウイルスの感染予防の観点から小規模での保護者会を開催しました。参加された皆様から貴重なご意見をいただきありがとうございます。2023年度は、さらに多くの方に来ていただけるよう計画していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	20			1		<ul style="list-style-type: none"> ・最近、行き渋りについて相談させてもらい、すぐに対応していただきありがとうございます。 ・すぐに対応していただけています。 ・相談や申し入れについても丁寧に対応していただけています。 	迅速かつ適切に対応するように心がけています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	21					<ul style="list-style-type: none"> ・少しのことでも教えていただきありがとうございます。 	HUG・電話、送迎時など様々な方法で情報共有するようにしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	19	1		1		<ul style="list-style-type: none"> ・ミニリズムだよりで活動の様子が見れ、子どもが写っていると嬉しいです。LINEでお知らせが届くのも助かっています。 	ミニリズム便りを通して、活動やお子様の様子をお伝えするようにしています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	20				1		書類は、鍵付きの書庫に保管・管理しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	12	1		8			避難訓練を年2回行っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	14			7		<ul style="list-style-type: none"> ・週一なので本人は参加できなかったが、きちんと話をしている。 ・連絡ノート、毎月のお便りでお知らせしてくれます。 	防災週間を設定し、避難訓練や紙芝居、動画を通して学べるようにしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	19	2				<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しみにしている。 ・行き渋りはあるが楽しんでいる様子があります。プールの日は、特に楽しみにしています。 	お子様一人ひとりが“安心して楽しめる場所”となるように、今後も取り組んでまいります。
	23	事業所の支援に満足している	20	1				<ul style="list-style-type: none"> ・ありがたき思います。 ・子どもがとても落ち着いています。 ・丁寧に対応していただけて嬉しく思います。また、たくさんのイベントや活動内容があり、子どもも楽しめています。満足。 	お子様と保護者様に寄り添った支援ができるように努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 8日

事業所名 多機能型事業所リズム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		学習室・スイミングスクール・学童VI-VAなど敷地内の部屋も活用している。	人数が多いと狭く感じることもある。机やイスなどを移動して、活動場所を広くしている。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	適切に配置をしている。	基準よりも多く配置しているが、もっと個別に支援をしてあげたいと思うことがある。児発と放デイで協力体制を取るようになっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		荷物を置く場所、活動する場所など視覚的に分かりやすくなるようにしている。また、手洗い場には踏み台を置いている。イラストや写真を活用して、おもちゃの片付け場所が分かるようにしている。また、必要に応じてデイサービス側のエレベーターも活用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		昼食・おやつの前後は特に拭き掃除による除菌を行っている。遊びスペースには、マットを敷いている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		毎月のミーティングで改善を図っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		戻ってきた評価に目を通し、改善すべきことについて話し合っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		評価の結果をホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		第三者評価事業は活用していない。連携できる外部パートナーを探したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		事業所内で研修を実施している。テーマは職員の意見を聞いて決定している。外部の作業療法士を招いた研修も行った。	
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		契約時やモニタリング、担当者会議で思いを聞き取り、支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化されたアセスメントツールを活用している。	よりよいものはないかと検討している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		保護者や子どものニーズを把握し、必要な支援を行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		ミーティングを定期的で開催し、プログラムを立案している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		同じ活動ばかりにならないようにアイデアを出し合って取り組んでいる。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	毎日受け入れ前にミーティングを行って、送迎場所と時間の確認、体調などの情報共有、その日の支援の内容と役割分担を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		毎日振り返りを実施している。また、日報の中で各々人の記録を書き残すことで、いつでも確認できるようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日報を作成し、支援の検証・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達管理責任者が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	4		在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6		在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			要請があれば、参加するようにしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		近隣の保育園と1月にもちつき会を実施した。併設する学童クラブVI-VAとクリスマス会・豆まきを楽しんだ。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		開催されているようであれば、参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	連絡ノートや電話、LINE等を活用し、共通理解を図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5	感染予防の観点から、ペアレント・トレーニング等をする会を開催することが困難だった。	2023年度は実施する予定。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に書面を読み上げながら、説明を行っている。また、必要に応じて適宜行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		同意の上、署名を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	連絡ノートや電話、LINEなどを活用し、支援をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	新型コロナウイルスの感染予防の観点から小規模での保護者会を開催した。	2023年度は、さらに多くの方に来ていただけるよう計画していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		事実を把握し、迅速かつ適切に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		毎月、ミニリズム便りを発行している。必要に応じてLINEも活用している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		書類は、鍵の閉まるロッカーに保管している。個人情報の取り扱いについては職員で声をかけ合ってミスがないようにしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		連絡ノート・電話・LINEなど複数の媒体を使って意思の疎通や情報伝達を図っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施をしなかった。	2023年度は、地域住民を招待してのイベントの実施を検討している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		各マニュアルを策定し、職員で共有している。	訓練の様子は、ミニリズム便りでお知らせをした。マニュアルについても周知していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	定期的に訓練をしている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		職員で共通理解をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		可能な範囲でアレルギー物質を除去したおやつを提供を行っている。または、おやつを持参してもらうなどの協力を得ている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		記録を残している。それを基に事例集を作成し、共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止委員会を設置し、研修を行っている。また、日常的に子どもとの関わりについてふりかえりを行うようにしている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		身体拘束を行っていない。	やむを得ない場合は、法人で定めた「身体的拘束等適正化のための指針」に則って行うこととしている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。